



目次

◆ブロックからのお知らせ.....	1
■2019 年度日本野鳥の会北海道ブロック協議会 総 会 報告	1
◆事務局からのお知らせなど.....	3
■Strix 35 号発行のお知らせ	3
■評議員会傍聴申込要領について	3

■支部報、HP 等への個人情報の掲載にはご本人の事 前の了承が必要です！	4
■会員数	4

◆ブロックからのお知らせ

■2019 年度日本野鳥の会北海道ブロック協議会 総会 報告

【日時】：2019 年 6 月 22 日（土）～23 日（日）
 【場所】：イーストハーバーホテル 1 階 AB ホール（根
 室市光和町）
 【担当支部】：日本野鳥の会根室支部
 【参加者】：12 支部（オホーツク支部 4 名、釧路支部 1
 名、十勝支部 2 名、旭川支部 1 名、滝川支部
 1 名、道北支部 1 名、江別支部 1 名、札幌支部
 1 名、苫小牧支部 2 名、室蘭支部 1 名、道南松
 山 1 名、根室支部 12 名）、財団（鶴居サンク
 チュアリ 1 名、ウトナイ湖サンクチュアリ 1
 名、春国岱ネイチャーセンター 2 名、野鳥保護
 区事業所 3 名、五反田事務所 6 名）合計 41 名

【スケジュール】

6 月 22 日（土）

13:00-14:00 <野鳥保護特別講演>

「シマフクロウの過去・現在・未来」 講師：山本純
 郎氏



▲山本純郎氏による基調講演の様子

14:20-14:30 <開会挨拶・挨拶>

日本野鳥の会根室支部 支部長 加藤義則
 公益財団法人日本野鳥の会 常務理事 上原健

14:30-15:30 <各支部からの報告>

- ①2018 年度総会 活動・会計報告 道北支部
- ②オジロワシ・オオワシ斉調査への協力について
（提案） 釧路支部
- ③2019 年十勝川下流オオジシギ調査結果 十勝支部
- ④ 胆振・日高のホトトギス 苫小牧支部

15:40-16:40 <財団本部からの報告>

- ①日本野鳥の会 近況報告 常務理事
- ②野鳥保護区についての昨年度の報告と今後の予定
保護区グループ
- ③オオジシギ保護調査プロジェクトの報告とお礼
保全プロジェクト推進室
- ④太陽光発電事業のアセス法対象化と洋上風力発電
の導入状況 自然保護室
- ⑤全国鳥類繁殖分布調査中間報告 自然保護室
- ⑥入会キャンペーンのお知らせ 普及室
- ⑦探鳥会のリスクマネジメント 普及室

18:00-20:00 <夕食・懇親会>

6 月 23 日（日）

06:00-07:30 <早朝探鳥会 水道沼周辺>

10:00-12:00 <落石海鳥クルーズ>

【議事録】

<各支部からの報告>

①2018 年度総会 活動・会計報告

道北支部

2018 年度の会計報告があり、拍手をもって了承され
 た。

②オジロワシ・オオワシ斉調査への協力について（提
 案） 釧路支部

39 年に渡って行われている本調査は、後継者がいな
 い調査地が出てきたり、個別に全ての調査員に連絡を
 取ったり、まとめている事務局に負担が集中している。
 そこで、管内の調査結果をある程度各支部でまとめる

のはどうかという提案がされ、その際の問題点などが話し合われた。

③2019 年十勝川下流オオジシギ調査結果

十勝支部

十勝川下流で 41 年ぶりに行われたオオジシギの調査結果の報告があった。十勝川沿いの 9 地点で調査を行い 1978 年と比較したところ、30 羽から 21 羽へと 30%減少し、勇払原野で行われた調査で見られた減少と同程度だった。また、来年度以降は、調査地を 24 箇所を増やして調査を行う予定であることが報告された。

④胆振・日高のホトトギス

苫小牧支部

戦前の図鑑によると、北海道ではホトトギスが確認されていなかったようであるが、最近の記録から、胆振・日高では、局地的ではあるが稀ということは無いようだ、との報告がされた。

⑤高規格自動車道路計画（道東自動車道根室線）に係るその後

釧路支部・根室支部

道東自動車道の延長計画の予定地の絞込みが発表されたが、オジロワシ・オオワシの冬期のねぐら使用に関する結果と評価などにいくつかの異議・疑問があったため、6 月 18 日付けで両支部連名の意見書を提出した件が報告された。本道路計画は希少鳥類の生息地を数多く通過すると考えられるため、引き続き注視し、必要な調査や提言・要望を行っていきたいと述べられた。

<財団本部からの報告>

①日本野鳥の会 近況報告

常務理事

初めに最近の財団の会員数の動向が、続いて函館支部の解散に至る過程と、支部に残された会費を北海道ブロックに寄付を頂くことになったことが報告された。福島県や沖縄県で会員数の減少により活動が停滞している支部があることが示され、日本の人口減少に伴い、会員数の減少が生じるのは仕方ないと考えられる反面、大日本獺友会が 2017 年度に会員数が 500 人以上増加したことが紹介され、日本野鳥の会としても会員数を増やす可能性が残されていると述べられた。また、理事を選出する役割を担う評議委員に、釧路支部の黒澤信道支部長が就任されたことが報告された。

②野鳥保護区についての昨年度の報告と今後の予定

保護区グループ

2018 年度のシマフクロウの保護活動として、3 地域に 123.4ha の保護区を設置し、5 つがいのシマフクロウの生息地が保全できたことが報告された。今後の展望として、現在 31 つがいのタンチョウの生息地保全に努めており、新たに保全が必要になった場合は生息地の購入を進めていくこと、シマフクロウでも生息地の確保に取り組んでいくことが報告された。また、根室と釧路の間で進む高規格道路の建設計画に対し、タンチョウやシマフクロウへの影響を最小限に抑えるため、建設予定地域の生息地の購入を行うことが報告された。野鳥保護区の活用として、現在は一般公開を控えているが、支部で保護区内での探鳥会等の開催の要望がある場合は、野鳥保護区事業所まで連絡して欲しいと述べられた。

べられた。

③オオジシギ保護調査プロジェクトの報告とお礼

保全プロジェクト推進室

北海道全域における 5 年計画の 4 年目の調査で、2018 年度は延べ 169 人の参加があり、588 地点からデータが得られ、推定 35,000 羽が道内で記録されたことが報告された。今後オオジシギの保護には、湿地環境、牧草地、耕作地などの維持管理と、それを進めていくための仕組みの必要性が述べられた。オオジシギを知ってもらう普及的活動として小冊子を作成し、2018 年度は、小学校 4 年生を中心に、道内の 34 市町村、398 校に配布したことが報告された。

④太陽光発電事業のアセス法対象化と洋上風力発電の導入状況

自然保護室

北海道における太陽光発電施設の建設への対応、洋上風力発電の現状と対策、今後の見込みについての報告があった。また、ガン・ハクチョウ類は、風車によって渡りのコースが変わったり、天候が悪い時はバードストライクの可能性があるとされたりしているため、風車を作るべきでない場所を明らかにする目的で、新潟大学と共同で渡りのルートのマップ化を進めている旨の報告があった。マップの作成に当たり、web 上の「見つけて渡り鳥」を用いてガン・ハクチョウ類のデータを提供して欲しいと呼びかけられた。

⑤全国鳥類繁殖分布調査中間報告

自然保護室

これまで 57 団体、1567 名が調査に参加し、2,324 の調査地点の約 70%で調査が終了した。草原性の野鳥、高山・亜高山帯の野鳥、小型の魚を餌とする野鳥が減少傾向にあり、森林性の野鳥、夏鳥、大型の魚を餌とする野鳥が増加傾向にあることが報告された。また、外来種の水平、垂直の両方向への急速な分布拡大も報告された。

⑥入会キャンペーンのお知らせ

普及室

2018 年の 4 月から新規入会の方に「しあわせとりカレンダー」をプレゼントしているキャンペーンについて共有された。キャンペーンを実施した昨年 4～12 月の入会者は 7.2%上昇したことが報告され、入会案内の際に活用して欲しいと呼びかけられた。

⑦探鳥会のリスクマネジメント

普及室

初心者向けバードウォッチングの普及とともに、野外活動に不慣れな方が探鳥会に参加する機会が増え、探鳥会のリスクマネジメントに一層気を付ける必要があることが呼びかけられ、リスクマネジメントに関してよく聞かれる誤解が紹介された。財団から講師を派遣するので、研修会を企画してほしい旨が述べられた。

～次回北海道ブロック会議の開催地について～

来年、2020 年度は日本野鳥の会札幌支部に、再来年、2021 年度は十勝支部に決定した。



▲水道沿周辺での早朝探鳥会の風景

(自然保護室／菅野良一)

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■Strix 35 号発行のお知らせ

Strix(ストリクス：野外鳥類学論文集)は、当会が1982年より発行している、鳥類の生態の調査研究、繁殖や飛来、行動などの観察記録、総説、自然保護活動の事例紹介等を掲載する和文誌です。会員であればどなたでも投稿できます。

なお、35号は、上田恵介当会会長(立教大学名誉教授)に編集長として、三上かつら氏(バードリサーチ)に副編集長としてのご協力をいただき、発刊しましたのでお知らせします。

35号は、原著論文4編、短報6編より構成され、会員の方の長年の調査による鳥類の分布の記録や食性の分析等の報告のほか、日本及び地域での繁殖記録や迷鳥などの観察記録、鳥類の興味深い行動の観察など、野外での鳥類観察に基づいた幅広いテーマの論文を掲載しています。ぜひ、手にとってご覧下さい。

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/publications/strix/strix35/>

[Strix 35 号のご購入方法]

- 頒布価格 ￥3,000(税別) 送料 ￥164(1冊につき)
- お申込み先：
お求めは、当会ホームページ、Eメール、ファックスのいずれかよりお申込み下さい。
- ・日本野鳥の会 Strix で検索
- ・Eメール：hogo@wbsj.org
- ・ファックス：03-5436-2635

※バックナンバーも当会ホームページよりご購入いた

だけです。

https://form.wbsj.org/form/sizenhogo/sizenhogo_commodity_edit.jsp

[お問い合わせ先]

日本野鳥の会自然保護室 (TEL：03-5436-2633)



▲Strix 第35号 表紙

(自然保護室／山本裕)

■総務室より

■評議員会傍聴申込要領について

令和1年度第3回臨時評議員会の傍聴申込要領をお知らせします。

●開催日時：

令和1年12月11日(水) 16:00~17:30

●開催場所：

- 公益財団法人日本野鳥の会会議室
(〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23)
- ・東急目黒線「不動前」駅より徒歩5分
- ・JR「五反田」駅より徒歩約10分
- ・JR「目黒」駅より徒歩約10分

●申込要領

会場の都合上、傍聴は連携団体(支部等)1人を限

度とします。参加希望者は、連携団体（支部等）の代表を通じ、メール又は FAX で下記までにお申込み下さい。

【お申込み先】：日本野鳥の会総務室総務 G（林山）
メールアドレスの場合：soumu@wbsj.org
FAX の場合：03-5436-2635

●申込期限：令和 1 年 10 月 25 日（金）必着

（総務室／林山雅子）

■会員室より

■支部報、HP 等への個人情報の掲載にはご本人の事前の了承が必要です！

7 月にある支部にて、支部総会資料の一部として支部報に同封する形で、支部会員の名簿が郵送されました。内容は、氏名、都道府県と市町村までの住所(番地はなし)のリストでした。それを見た会員の方より財団へ連絡が入り、記載されていたお名前とご住所の誤りについてのご指摘と、事前に了承していないので掲載してほしくないとのことがありました。

氏名と住所の一部のリストであっても、個人情報ですので、掲載と配布にはご本人の事前了承が必要となります。財団で契約している個人情報コンサルタントによると、名簿配布について事前了承を得ていない場合、個人情報保護法の「目的外利用」（法第16条）、「第三者提供」（法第23条）にあたり、漏洩事故として処理対応しなければならないとのこと。現在、コンサルタントのアドバイスを元に対応中です。

支部報、HP、総会資料等に個人情報を掲載されている場合には、必ず事前にご本人のご了承をいただいていることを改めてご確認くださいようお願いいたします。また、掲載する場合にも、その内容が正確なものであるようご留意ください。

※支部の個人情報の取り扱いについては、財団が「支部個人情報チェックリスト」を作成しております。「支部個人情報チェックリスト」をお持ちでない支部は、以下の連絡先にお問い合わせください。なお、「支部個人情報チェックリスト」は支部の内部でのご活用にとどめ、外部への転送はご遠慮ください。

【お問い合わせ先】

（公財）日本野鳥の会 普及室 普及教育グループ
メール：tancho-staff@wbsj.org
TEL：03-5436-2622 FAX：03-5436-2635

（会員室／佐藤ゆき乃）

■会員数

9 月 2 日の会員数は 34,397 人で、先月と比べ 12 人減少しました。8 月の入会・退会者数の表をみると、入会者数は退会者数より 18 人少なくなっています。

会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

8 月の入会者数は 125 人で、前年同月の入会者数 169 人と比べ 44 人減少しました。また、8 月の退会者数は 143 人で、前年同月の退会者数 147 人と比べ 4 人減少しました。

表 1. 8 月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	13 人	4 人
総合会員(おおぞら会員)	20 人	33 人
本部型会員(青い鳥会員)	33 人	36 人
支部型会員(赤い鳥会員)	31 人	45 人
家族会員	28 人	25 人
合計	125 人	143 人
年度累計	816 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

■都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表 2. 都道府県別の会員数（9 月 2 日現在）

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,660 人	5 人
青森県	247 人	1 人
岩手県	365 人	-2 人
宮城県	484 人	0 人
秋田県	247 人	0 人
山形県	216 人	0 人
福島県	597 人	1 人
茨城県	884 人	-3 人
栃木県	685 人	3 人
群馬県	609 人	-1 人
埼玉県	2,096 人	2 人
千葉県	1,564 人	-4 人
東京都	4,759 人	-9 人
神奈川県	3,284 人	-6 人
新潟県	365 人	1 人
富山県	199 人	-1 人
石川県	272 人	-1 人
福井県	222 人	0 人
山梨県	269 人	6 人
長野県	844 人	-3 人
岐阜県	461 人	0 人
静岡県	1,300 人	-2 人
愛知県	1,483 人	-4 人
三重県	430 人	2 人

滋賀県	292 人	1 人
京都府	812 人	-1 人
大阪府	1,988 人	14 人
兵庫県	1,275 人	-5 人
奈良県	503 人	0 人
和歌山県	192 人	0 人
鳥取県	189 人	0 人
島根県	169 人	-1 人
岡山県	546 人	-1 人
広島県	555 人	-8 人
山口県	365 人	1 人
徳島県	311 人	0 人
香川県	185 人	-1 人
愛媛県	353 人	-1 人
高知県	124 人	-1 人
福岡県	1,282 人	1 人
佐賀県	194 人	0 人
長崎県	208 人	1 人
熊本県	392 人	-1 人
大分県	220 人	2 人
宮崎県	246 人	0 人
鹿児島県	310 人	0 人
沖縄県	105 人	0 人
海外	11 人	0 人
不明	28 人	3 人
全国	34,397 人	-12 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（9月2日現在）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	253 人	3 人
根室支部	83 人	3 人
釧路支部	153 人	0 人
十勝支部	174 人	0 人
旭川支部	82 人	0 人
滝川支部	46 人	0 人
道北支部	27 人	0 人
江別支部	19 人	0 人
札幌支部	302 人	2 人
小樽支部	64 人	0 人
苫小牧支部	161 人	1 人
室蘭支部	144 人	1 人
道南檜山	62 人	0 人
青森県支部	129 人	0 人
弘前支部	111 人	0 人
秋田県支部	236 人	0 人
山形県支部	200 人	-1 人
宮古支部	86 人	-1 人
もりおか	160 人	0 人
北上支部	99 人	-1 人

宮城県支部	455 人	-1 人
ふくしま	154 人	0 人
郡山支部	156 人	2 人
白河支部	38 人	-1 人
会津支部	55 人	1 人
奥会津連合	7 人	0 人
いわき支部	109 人	-1 人
福島県相双支部	17 人	0 人
南相馬	14 人	0 人
茨城県	784 人	-4 人
栃木県支部	673 人	3 人
群馬	524 人	0 人
吾妻	41 人	0 人
埼玉	1,587 人	3 人
千葉県	986 人	1 人
東京	2,701 人	-10 人
奥多摩支部	796 人	-5 人
神奈川支部	2,236 人	-12 人
新潟県	270 人	-1 人
佐渡支部	33 人	0 人
富山	179 人	-2 人
石川	251 人	-2 人
福井県	215 人	0 人
長野支部	443 人	-1 人
軽井沢支部	163 人	-4 人
諏訪支部	225 人	0 人
木曽支部	23 人	0 人
伊那谷支部	73 人	-4 人
甲府支部	186 人	5 人
富士山麓支部	59 人	0 人
東富士	61 人	0 人
沼津支部	157 人	0 人
南富士支部	250 人	-1 人
南伊豆	40 人	0 人
静岡支部	336 人	0 人
遠江	397 人	0 人
愛知県支部	1,094 人	-10 人
岐阜	449 人	-1 人
三重	359 人	2 人
奈良支部	448 人	-4 人
和歌山県支部	196 人	0 人
滋賀	290 人	-1 人
京都支部	768 人	-2 人
大阪支部	1,856 人	5 人
ひょうご	971 人	0 人
鳥取県支部	205 人	0 人
島根県支部	159 人	-1 人
岡山県支部	511 人	-1 人
広島県支部	481 人	-3 人
山口県支部	333 人	1 人

香川県支部	144 人	-1 人
徳島県支部	327 人	-1 人
高知支部	109 人	-2 人
愛媛	326 人	-1 人
北九州支部	291 人	-1 人
福岡支部	544 人	0 人
筑豊支部	240 人	-3 人
筑後支部	161 人	1 人
佐賀県支部	234 人	0 人
長崎県支部	194 人	1 人
熊本県支部	383 人	-3 人
大分県支部	214 人	2 人
宮崎県支部	242 人	0 人
鹿児島	285 人	0 人
やんばる支部	69 人	0 人
石垣島支部	16 人	0 人
西表支部	44 人	0 人
	29,228 人	-50 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。
これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（会員室／厚目葉子）

支部ネット担当より

残暑もようやく和らぎ、秋の風を感じるようになったこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつも支部ネット通信をご愛読いただき、ありがとうございます。

今月号では、Strix35 号発刊のお知らせを掲載しております。昨年来の皆様からの寄稿により、発刊いたしました。ぜひご購入ご検討ください。

■支部ネット通信は支部の代表の方に電子メールでも配信をしています。電子メールでの配信を希望される支部の代表の方は下記メールアドレスまでお気軽にお申し込みください。

日本野鳥の会

支部ネット通信

第 186 号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2019 年 9 月 26 日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/浦野菜穂子

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org